

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社ミライ・シア

②施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園新丸子	種別：認可保育所	
代表者氏名：中村 典子	定員（利用人数）：	60名
所在地：川崎市中原区新丸子町964-3		
TEL：044-948-7136	ホームページ：like-kn.co.jp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2022年4月		
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクキッズ株式会社		
職員数	常勤職員： 11名	非常勤職員 5名
専門職員	保育士 11名	調理師 1名
	看護師 1名	
	栄養士 3名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室3室 内1室は3クラス(2～5歳児)分	事務所、調理室、休憩室、更衣室、洗濯室、シャワー室(2室)園児用トイレ2か所、職員用トイレ1ヶ所、調理室専用トイレ1ヶ所

③理念・基本方針

- 1) 子どもにとって安全で安心できる居場所となる保育所
- 2) 子どもがのびのびと成長できる保育所
- 3) 保護者にとって信頼できる保育所
- 4) 職員がやりがいや意欲をもって働ける保育所
- 5) 地域の方にとっても存在意義のある保育所

④施設・事業所の特徴的な取組

職員全員が子どもの安全を第一に意識し、日々の業務をこなすことを最優先とし、安全の上に安心や信頼が成り立つことを理解している。
 利用者のニーズとして、基本的な保育以外に課外活動的なものの要求が見られる中、就学に向けての項目にも合致すると思われる書道を取り入れている。
 地域との関係としては、住宅街に立地しているため、音に対しての配慮を十分に行っている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月16日（契約日） ～ 2022年3月30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1) 子どもの生活と遊びを豊かにする保育

雨が降らなければ積極的に戸外活動に出かけています。戸外活動時は交通ルールを学んだり、行き帰りには近隣を歩きかう人、消防署、交番、商店街の人たちと挨拶を交わしたりし、地域の中で生活をしていることが感じられるようにしています。また、公園のほか、多摩川緑地、神社、保育子育て総合支援センター、新幹線が良く見える場所など、子どもが好きな場所や地域のさまざまな資源も保育に生かし、子どもの生活と遊びが豊かになるようにしています。

2) オープンな空間での異年齢の育ち合い

2歳児クラスと3～5歳児クラスはオープンフロアを低い棚で仕切っています。活動によっては、棚を寄せたり、同じフロアの1歳児クラスのパーティションも開け、さらにオープンな空間にすることもあり、子どもの様子に合わせています。異年齢の子どもたちが関わることで様々なことに興味や関心を広げられるようにしています。さらに園では「聞く力」をつけることに着目し、毎月テーマ（魚、秋など）を決めて全園児が参加する「お話会」を開催しています。0～2歳児でも分かる内容、3～5歳児向け、最後は5歳児に向けた内容の3部構成にし、聞く力をつけながら、楽しむ力もつくようにしています。

3) 子どもの状態に応じた保育や職員の対応

子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育や職員の対応について、職員会議・クラス会議のほか、昼礼の短い時間の中でも意見を出し、話し合っています。子どもが主体であり、一人ひとりの発達状況に応じた保育内容になるよう話し合いを重ね、保育の質の向上につなげていこうとしています。例えば、0歳児クラスの絵本棚は子どもたちの成長が見られ安全面の確認が取れたので最近設置をしています。職員は子どもに対し、穏やかで柔らかいトーンの言葉かけをしています。泣いている子どもの傍らで落ち着くまで寄り添う職員の姿も観察できました。

4) 保育士の育成に対する丁寧な支援体制

「成長支援制度」という制度にもとづき、半年ごとに各職員が2つの目標を設定し、目標達成についての評価結果を報酬につなげる仕組みを構築しています。職員の目標設定にあたって、園長はそれぞれの職員が描く保育士像や保育観を具現化できるように努め、支援をしています。また、新しく入職した職員に対しては個別に書類の添削を行い、文章力など基本的な能力の向上に努めています。園内研修では、園長だけではなく専門リーダーや副主任も講師を務めるなど、主体的に職員が学ぶ機会を作っています。園長は職員全員が子どもの安全を第一に意識し、日々の業務にあたることを最優先とし、安全の上に安心や信頼が成り立つ保育を実現するための職員育成に力を入れています。

5) 保護者に対して事業計画等の理解をさらに深める工夫が期待されます

中長期計画や事業計画等は、必要な手続きを踏んだうえで作成され、運営委員会で内容の詳細を説明しています。作成後は玄関にファイリングし、必要な時に誰もが閲覧できるようにし、保護者へ周知するための取組が行われています。しかし、登降園時等にファイルを閲覧している保護者も多くなく、十分に周知されているとは言えない状況です。中長期計画や事業計画等について保護者の理解が深めることは、園の運営に対して理解を深めるきっかけとなります。情報発信の方法を工夫することで、事業計画等について保護者の理解をさらに深める取組が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

コロナ禍に開園した本園で、この3年間は保育内容や保護者対応などにおいて、できないことを数えれば、数えきれないほど抱え、それでも子どもたちの成長・発達に必要なことについて、どうしたらできるのか、何ならばできるのかを熟考しながらの運営でした。保護者の方々の要望（アンケート内容）は、表に出てくるよりも多く感じられました。こちらの努力についてのご理解はありながらも満足につながらないこともあることを感じました。評価結果におかれては、a評価をいただけた箇所は持続できるように、b評価であった箇所はさらにできることを行っていきたいと思います。来年度はコロナでの規制も緩和されてくる見通しがあるので、今までできなかった地域支援に力を入れていく所存です。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり